

2016年6月2日

報道関係各位

ラサール不動産投資顧問株式会社

首都圏の大消費地を目前に控え、西日本方面への交通利便性も高まる物流適地 ラサール、トナミ運輸(株)向け物流施設「ロジポート平塚新町」を竣工

ラサール不動産投資顧問株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役兼 CEO 中嶋 康雄、以下「ラサール不動産投資顧問」)は、2015年5月より開発を進めていたトナミ運輸株式会社(本社:富山県高岡市、代表取締役社長 綿貫 勝介、以下「トナミ運輸」)向け物流施設「ロジポート平塚新町」を2016年5月31日に竣工致しました。

「ロジポート平塚新町」は、敷地面積約14,600㎡に地上4階建て、延床面積約29,100㎡の先進的物流施設です。当施設は圏央道「寒川南IC」まで3.7kmと至近に立地しており、東名高速道路や中央自動車道へのアクセスが容易です。また2018年度には当施設から約8kmの位置に「厚木南IC」が開設、2020年度には「御殿場IC」までの全区間が開通する予定で、この平塚エリアは西日本方面への交通利便性が一層高まり、新しい物流適地として発展が期待されています。

また当施設の近隣住民人口は、半径3km圏内で19万人、半径5km圏内まで含めると36万人にのぼります。当施設までのアクセスはJR東海道本線「平塚駅」から路線バスで10分と公共交通の利便性もよく、徒歩、自転車通勤も含め、施設で働く従業員にとって交通利便性の高い環境です。当施設の仕様として、L字型トラックバースを備え、床荷重1.5t/㎡、梁下天井有効高5.5m以上、また柱スパンは9.9m以上を確保しています。さらに全館LED照明、緑化駐車場の整備など環境や省エネルギーにも配慮しています。

当施設は、すでに総合物流企業のトナミ運輸へ竣工と同時に1棟貸しすることが決まっております。トナミ運輸の代表取締役社長 綿貫 勝介は「当社の平塚エリアにおける新拠点として稼働し、3PL事業の業容拡大を目指したい」と話しています。

各企業による物流効率化の過程で、交通利便性に優れたエリアに立地する近代的な物流施設へのニーズが高まっています。ラサール不動産投資顧問は今後も各企業の戦略的物流拠点となる適地を見定め、テナント企業活動のニーズに応える物流施設開発を進めてまいります。

【施設概要】

所在地：神奈川県平塚市新町6-15
敷地面積：14,676.10㎡(4,439.52坪)
延床面積：29,191.32㎡(8,830.37坪)
構造：鉄骨造 地上4階建
設計監理監修：コンストラクションマネジメントジャパン株式会社
設計施工：株式会社加賀田組
用途：BTS型物流施設 ※ビルド・トゥ・スーツ型＝特定企業向け
着工：2015年5月1日
竣工：2016年5月31日

外観写真



内観写真

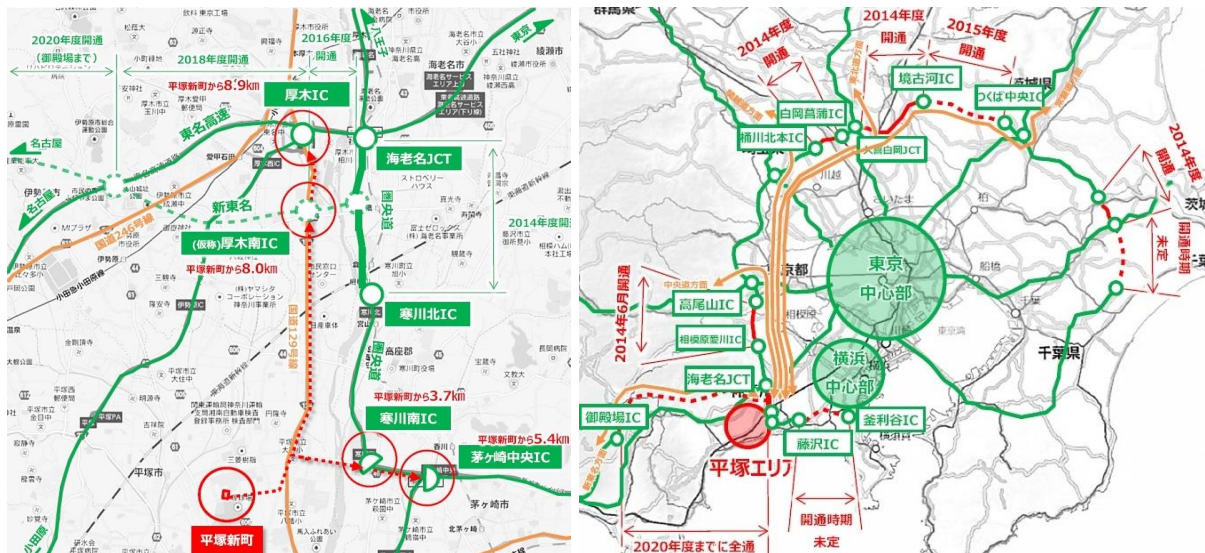


鏡開き



左から3番目ラサール不動産投資顧問株式会社代表取締役兼 CEO 中嶋康雄、4番目トナミ運輸 執行役員 東神主管支店長 飛弾 芳彦

【周辺地図】



ラサール不動産投資顧問株式会社について

ラサール不動産投資顧問株式会社は、ラサール インベストメント マネージメントの日本法人です。ラサール インベストメント マネージメントは、世界有数の不動産投資顧問会社です。世界規模で、私募、公募の不動産投資活動、負債性投資をしており、総運用資産残高は580億米ドル(2015年12月末現在)。主要顧客は、世界の公的年金基金、企業年金基金、保険会社、政府関連、企業、その他基金(大学基金他)などで、世界中の機関や個人投資家の資金管理を行い、セパレートアカウント型、オープンエンド型ファンド、クローズドエンド型ファンド、公募証券、エンティティレベル投資等の手法で投資を行っています。また、世界最大級の総合不動産サービス企業であるジョーンズ ラング ラサール グループ(ニューヨーク証券取引所上場:JLL)傘下にあります。なお、詳しい情報は、www.lasalle.comをご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

広報担当(エイレックス) 村瀬亜以 電話 03-3560-1289 メール lasalle@arex-corp.com

*このリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、平塚記者クラブへ配布しております。